

1 説明文

(1) この図は、「2基本事項等」中「(3)公表する河川」について、基本高水の設定の前提となる降雨(以下、「計画降雨」という。)による浸水が想定される区域(以下、「洪水浸水想定区域」という。)と浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。

(2) この洪水浸水想定区域図は、公表時点の「2基本事項等」中「(3)公表する河川」の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して100年に1回程度起こる大雨が降ったことにより「2基本事項等」中「(3)公表する河川」が氾濫した場合に想定される浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。

(3) なお、このシミュレーションにあたっては、「2基本事項等」中「(3)公表する河川」以外の河川の氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に示されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

2 基本事項等

(1) 作成主体 兵庫県
 (2) 公表年月日 平成 年 月 日
 (3) 公表する河川 加古川水系岩屋谷川、牧山川、小野尻川、中河原川、竹安川、奥村川、北油良川、井中川、芦田川、倉町川、遠飯川、奥塩久川、福土川、大榎川 (丹波県民局：丹波土木事務所)

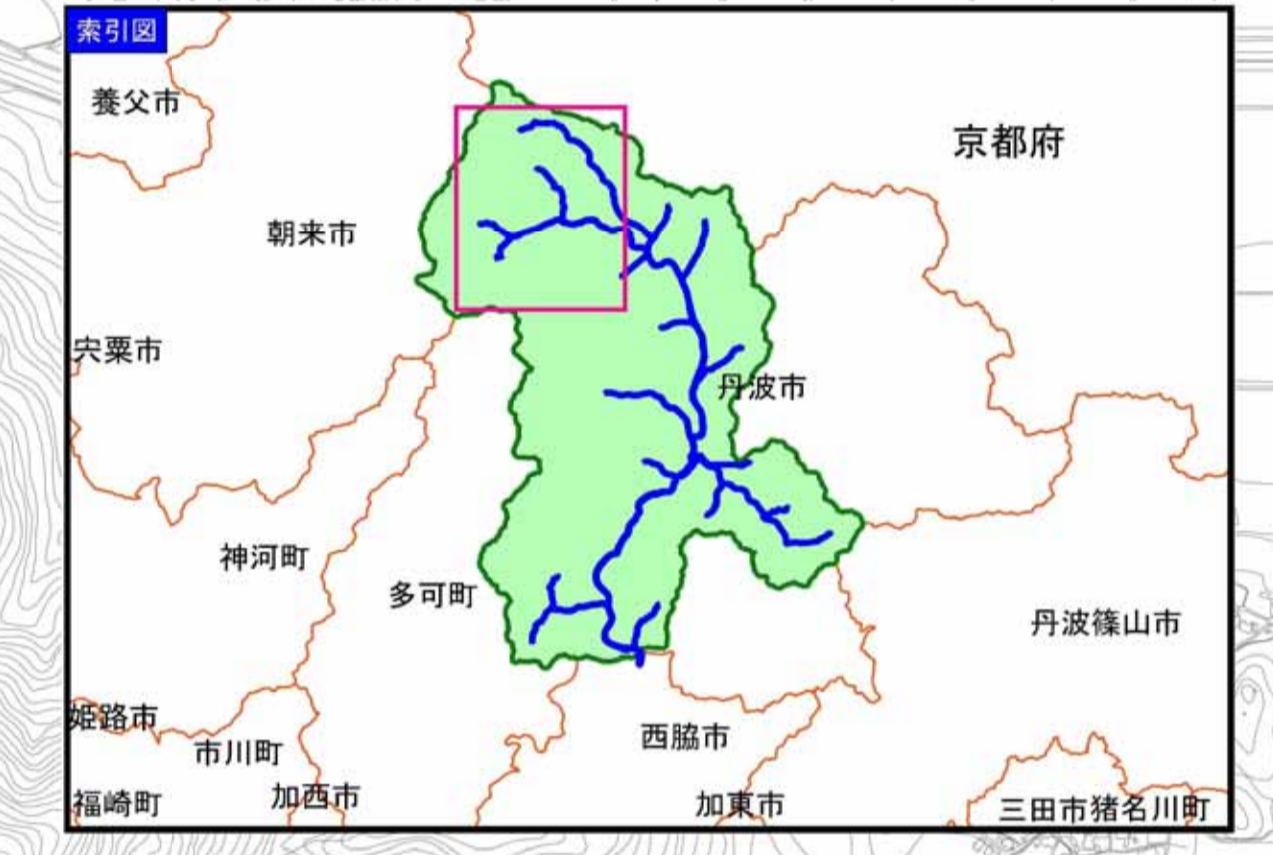
(4) その他図示する河川 加古川水系柏原川、高谷川、葛野川
 (5) 関係市町 丹波市
 (6) その他の計算条件等

① この図は「(3)公表する河川」で溢水・越水・破堤した場合の洪水浸水想定区域を図示しています。このため、「(3)公表する河川」以外の河川・水路が溢水・越水・破堤した場合の浸水状況は図示していません。

② この図は、「(3)公表する河川」堤防を有する区間においては、危険となる水位に達した時点で破堤させ、堤防が無い区間においては溢水させたときの氾濫計算結果を基に作成したものです。

③ 氾濫計算は対象区域を25mのメッシュに分割し、これを1単位として計算しており、またこの計算メッシュの地盤高は航空レーザー測量より求めた平均地盤高を使用しています。このため微地形による影響が表せていない場合があります。

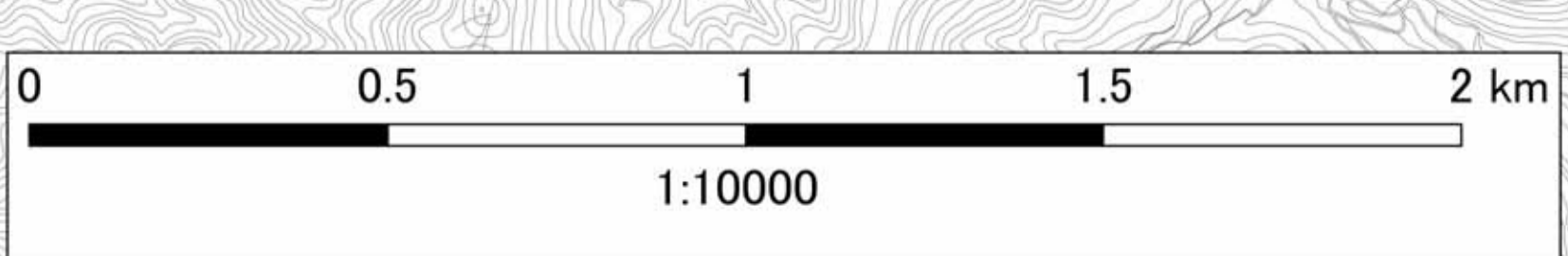
④ 洪水浸水想定区域は、氾濫計算結果から計算メッシュごとの想定浸水位を算出し、隣接する計算メッシュとの連続性や、連続盛土構造物(道路や鉄道等の盛土)を考慮して図化しています。また、浸水深は25mメッシュで計算した最大浸水位から、5mメッシュの地盤高を差し引いたものを最大浸水深として図化しています。

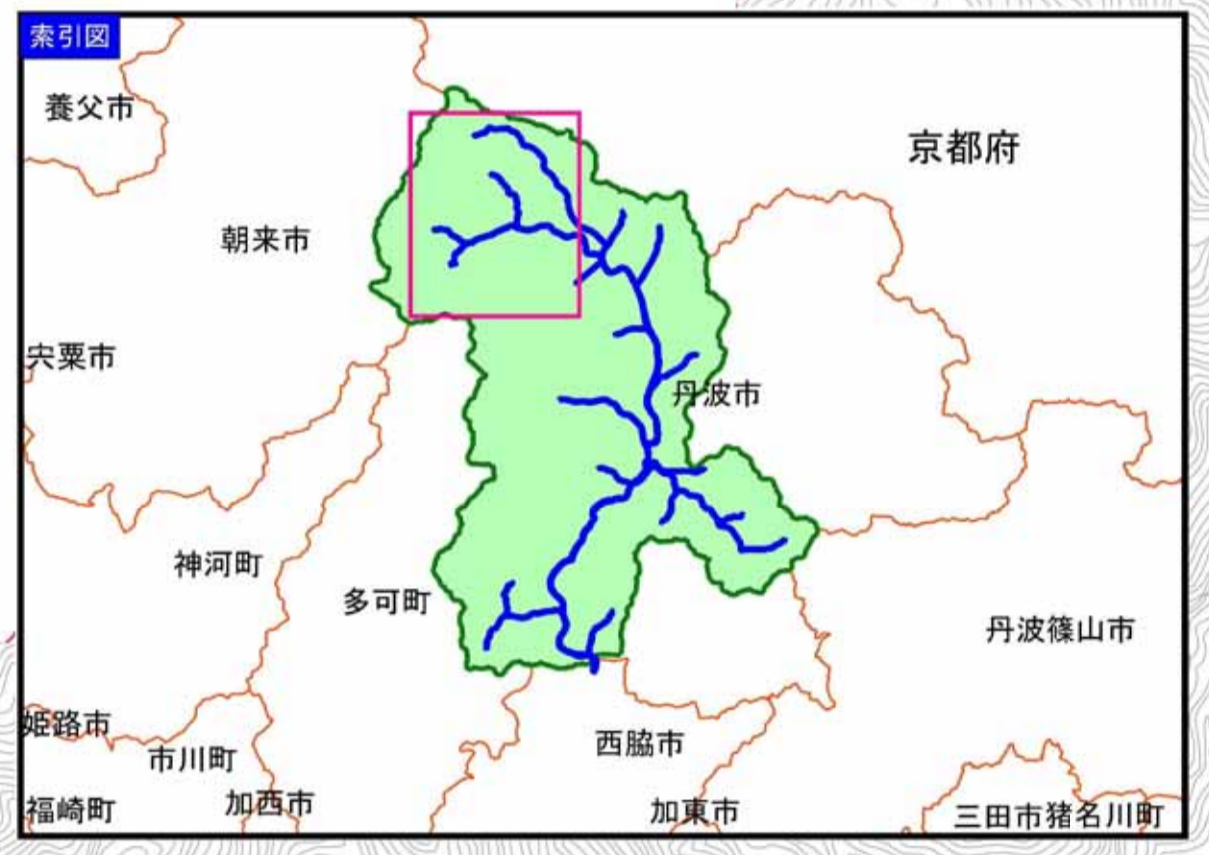
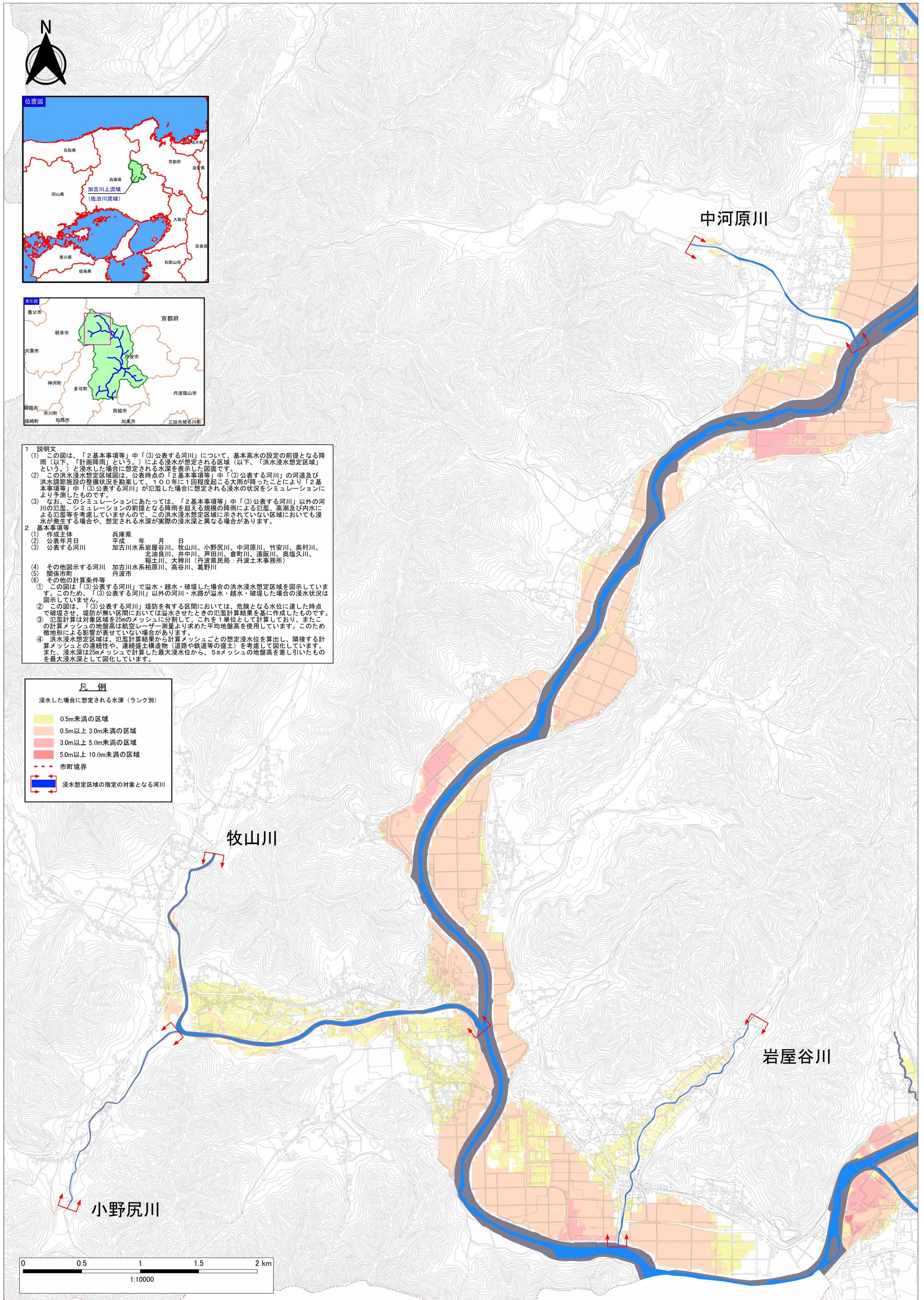


凡例

浸水した場合に想定される水深(ランク別)

	0.5m未満の区域
	0.5m以上 3.0m未満の区域
	3.0m以上 5.0m未満の区域
	5.0m以上 10.0m未満の区域
	市町境界
	浸水想定区域の指定の対象となる河川





1 説明文

(1) この図は、「2基本事項等」中「(3)公表する河川」について、基本高水の設定の前提となる降雨（以下、「計画降雨」という。）による浸水が想定される区域（以下、「洪水浸水想定区域」という。）と浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。

(2) この洪水浸水想定区域図は、公表時点の「2基本事項等」中「(3)公表する河川」の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、100年に1回程度起こる大雨が降ったことにより「2基本事項等」中「(3)公表する河川」が氾濫した場合に想定される浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。

(3) なお、このシミュレーションにあたっては、「2基本事項等」中「(3)公表する河川」以外の河川の氾濫シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に示されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

2 基本事項等

(1) 作成主体 兵庫県
 (2) 公表年月日 平成 年 月 日
 (3) 公表する河川 加古川水系岩屋谷川、牧山川、小野尻川、中河原川、竹安川、奥村川、北油良川、井中川、芦田川、倉町川、遠飯川、奥塩久川、福土川、大榑川（丹波県民局：丹波土木事務所）

(4) その他図示する河川 加古川水系柏原川、高谷川、葛野川
 (5) 関係市町 丹波市
 (6) その他の計算条件等

① この図は「(3)公表する河川」で溢水・越水・破堤した場合の洪水浸水想定区域を図示しています。このため、「(3)公表する河川」以外の河川・水路が溢水・越水・破堤した場合の浸水状況は図示していません。

② この図は、「(3)公表する河川」堤防を有する区間においては、危険となる水位に達した時点で破堤させ、堤防が無い区間においては溢水させたときの氾濫計算結果を基に作成したものです。氾濫計算は対象区域を20mのメッシュに分割してこれを1単位として計算しており、またこの計算メッシュの地盤高は航空レーザー測量より求めた平均地盤高を使用しています。このため微地形による影響が表せていない場合があります。

③ 洪水浸水想定区域は、氾濫計算結果から計算メッシュごとの想定浸水位を算出し、隣接する計算メッシュとの連続性や、連続盛土構造物（道路や鉄道等の盛土）を考慮して図化しています。また、浸水深は25mメッシュで計算した最大浸水位から、5mメッシュの地盤高を差し引いたものを最大浸水深として図化しています。

凡例

浸水した場合に想定される水深（ランク別）

	0.5m未満の区域
	0.5m以上 3.0m未満の区域
	3.0m以上 5.0m未満の区域
	5.0m以上 10.0m未満の区域
	市町境界
	浸水想定区域の指定の対象となる河川

